

スポーツ救護ナースの皆様へ

拝啓 皆様におかれましては、コロナ禍のなか各職域で大変ご苦勞のことと拝察いたします。

さて、令和2年より新型コロナウイルス感染症拡大により当学会の活動停滞を余儀なくされ、救護ナース・救護員養成研修の中止、派遣調整が上手くできず、また令和元年には組織の分裂ともとられる事案が発生し、関係者の皆様にはご迷惑をおかけしたことを大変申し訳なく思っております。

昨年執行部役員も変わり、現在、新たに救護ナース・救護員の養成研修の開催、救護ナースの派遣調整システムの構築に向けて準備をしていることをご報告いたします。幸い、本件に関しては、大分県看護協会様と2月末に話し合いを持つことができ、今後は下記の通りスポーツ救護ナースの養成、及び派遣について確認させて頂きました。

#### 記

1. 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつスポーツ救護ナース・救護員の養成研修を大分県看護協会の協力を得て開催の方向で準備する。
2. スポーツ救護ナースの派遣調整は、大分県看護協会ナースセンターのシステム変更により、これまでのような調整はできにくい環境になることから、大分県スポーツ学会が主に派遣調整を行うことになる。

大分県スポーツ学会では、将来、(仮称) スポーツ救護ナース協議会設立を視野に当面の派遣調整はスポーツ救護委員会(委員長:高橋隆一 副理事長)を中心に行うよう体制を強化する。

なお、本件取り組みに関しては、学会ホームページに随時掲載してまいりますのでご確認ください。

ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

令和4年3月吉日

一般社団法人大分県スポーツ学会  
理事長 大場 俊二  
スポーツ救護委員会委員長 高橋 隆一